

# 紫峰の風

shihou no kaze



筑波大学  
University of Tsukuba  
第12号 2019年4月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められております。



写真左上から：大学会館前の賑わい/IMAGINE THE FUTURE~未来を想え  
新入生で埋まる会場/永田学長の式辞/学生組織の委員長による挨拶

### 平成31年度 筑波大学入学式・大学院入学式

4月8日、平成31年度筑波大学入学式・大学院入学式が大学会館講堂で挙行された。

寒さが戻り、曇りの天候に見舞われたが、会館前の桜は入学を祝うように美しく咲き誇っていた。

午前の学群・理療科教員養成施設の入学式では、2,265人の学群生及び11人の理療科教員養成施設への入学生が新たに筑波大学の仲間となった。また、午後の大学院入学式では2,458人の大学院生が入学した。

開式の前に混声合唱団による学生歌「常陸野の」の合唱、管弦

楽団による「ヴァーグナー『マイスタージンガー』第1幕への前奏曲」の演奏で新入生を歓迎した。式は学長式辞から始まり、次に役職紹介が行われた。最後は歌手のポール・バラード氏と他3人の学生による歓迎歌「IMAGINE THE FUTURE~未来を想え」で式は幕を閉じた。

入学式後、大学会館前には各学類の旗を掲げた上級生が新入生を迎えた。新入生は各学類のオリエンテーションや新入生歓迎祭本祭に参加し、新たな大学生活のスタートを切った。

(取材/広報部会 稲葉彩月・教育3年)

### 今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春季スポーツ・デー	5月11、12日
宿舍祭	5月31、6月1日(2日予備日)
春ABモジュール期末試験	6月28日~7月4日
紫峰の風第13号発行予定	7月下旬
春ABCモジュール期末試験	8月5日~9日
同(東京・キャンパス)	7月30日~8月3日
春学期授業終了	8月9日
同(東京・キャンパス)	7月27日
期末試験予備日(東京・キャンパス)	8月6日~8日
夏季休業	8月10日~9月30日
同(東京・キャンパス)	8月9日~9月30日

### —内容—

キャンパスニュース、学生の1週間 筑波大学の風景、留学情報	1頁
学生生活課より、筑波大学の就職支援、紫峰会基金より 学生相談室から、桐の葉日記、お知らせ、	2頁
特集:筑波大学の学生宿舍	3頁
文サ連、芸サ連、全代会、体育会活動紹介	3、4頁

## キャンパスニュース



金栗四三特別展・展示室の様子

### 金栗四三特別展

筑波大学体育ギャラリーでは、NHK大河ドラマ「いだてん」で、日本長距離走の先駆けであり筑波大学の前身東京高等師範学校の卒業生でもある金栗四三の半生が描かれることを記念し、金栗四三特別展を開催しています。金栗四三が実際に練習で用いた足袋や直筆の書をはじめ、彼の活躍などを記した年表も展示されており、金栗四三の功績を詳しく知ることができます。当時の写真も数多く見ることができ、これらの写真はとても鮮明で臨場感にあふれています。また、AR技術により金栗四三と記念写真を撮ることができる展示は来場者に大人気です。展示期間は月曜日を除いた今年の12月25日まで、9時30分~17時00分の開場時間となっています。観覧料は高校生以上が300円(20名以上の団体200円)、中学生以下・障がい者が無料となっています。大学にいらした際にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

URL:<http://www.tsukuba.ac.jp/event/e201901221125.html>

(取材/体育会広報局長 河原井かれん・芸専2年)



学位記授与

### 筑波大学卒業式・大学院学位記授与式

3月25日、筑波大学大学会館講堂にて平成30年度筑波大学学群卒業式および大学院学位記授与式が行われた。晴れ渡る空の下、午前の学群卒業式では学群卒業生2,208人及び理療科教員養成施設卒業生18名、午後の大学院学位記授与式では大学院修了生2,268人が、新たな一歩を踏み出した。式の前には混声合唱団による学生歌常陸野の合唱、管弦楽団による演奏が行われ、それぞれの式の最後では筑波大学のメッセージソングである「IMAGINE THE FUTURE~未来を想え」が歌われ、卒業生は送り出された。

大学会館前にはサークルなどの後輩が集まっており、卒業生たちが式場から出てくると、あちこちで胴上げや記念撮影が行われた。応援部WINSのエールや、後輩たちの祝いの言葉のなか、卒業生たちは盛大に門出を祝福された。

(取材/芸サ連広報局長 松村岳・芸専3年)



合格し胴上げされる受験生

### 合格発表

3月8日10時より、本部棟南駐車場で筑波大学個別学力検査等(前期日程)の合格発表が行われました。掲示板前で待機していた受験生や保護者は緊張した不安げな面持ちで、発表の瞬間が訪れると一斉に掲示板へと駆け寄っていました。番号を見つけて抱き合う親子や塾の先生と握手する受験生、一方で呆然と立ち尽くし悔し涙を流す受験生。受験生それぞれの様々な感情が渦巻く空間でした。後方では、毎年恒例のアメリカン・フットボール部による胴上げや万歳が行われており、喜ぶ合格者と記念写真を撮って盛り上がっていました。晴天に恵まれた合格発表を経て多くの高校生の進路が決まり、新たな年度の始まりを感じさせる日となりました。

(取材/広報部会 山岸素子・知識3年)



サークルの勧誘を受ける新入生

### 新入生歓迎祭

今年度も新歓祭本祭が入学式当日である4月8日に開かれました。入学式前日までの春を感じさせる暖かさとは違って変わり、当日は朝から小雨が降りしきり肌寒い一日でしたが、新歓祭本祭までに新入生を迎えるかのごとく雨はあがり、大学生活への期待に満ちた新入生を多くの団体で出迎えることが出来ました。

また、昨年度の反省として一番に挙げられた第一エリアでの混雑も、団体側のビラ配布の人員を減らすことで解消させることができ、それにより屋外ブースや教室展示などの企画にも多く足を運んでもらうことができました。

今年度も新歓祭本祭を無事終えることができたのは、参加団体の皆様、運営のための援助金を支給して下さった筑波大学紫峰会基金をはじめとする学生生活課の方々、ステージ設営を取り仕切って下さった学園祭実行委員の皆様のご協力によるものが大きくあります。推進委員を代表して、この場を借りて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

(寄稿/2019年度新入生歓迎祭推進委員会委員長 岩崎幹生・体育4年)

## 学生の一週間

ここでは、学生2名の一週間のスケジュールを例に、筑波大生が実際にどのような生活を送っているのかを紹介します。今回は、2人が1年生だった時の春学期Bモジュール（5月～6月）です。

### 2年生 Sさん(医療科学類)

実家から通っているため通学・移動に使う時間が長くなっています。通学時間は片道60～90分です。音楽系のサークルに所属していてその練習が週3回入っています。この時期は試験が近づいていた上に試験数が多かったため勉強している時間が長かった気がします。趣味の時間は本を読んだりピアノを弾いたりしていました。

	月	火	水	木	金	土	日
6	起床	起床	起床	起床	起床		睡眠
7	朝食・準備・通学	朝食・準備・通学	朝食・準備・通学	朝食・準備・通学	朝食・準備・通学	睡眠	起床・朝食
8	課題	課題	課題	課題	課題		
9	授業	授業	授業	授業	授業	起床・朝食	
10							外出
11	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	勉強	
12	授業			授業		昼食	昼食
13						移動	
14	課題・勉強	授業	授業		授業		
15				帰宅		図書館で勉強	勉強
16	授業						
17		移動・夕食			課題・勉強		
18	課題・勉強	課題・勉強		課題・勉強			
19	サークル	バイト	サークル	夕食	サークル	移動	夕食
20						夕食	
21	帰宅・夕食	帰宅	帰宅・夕食	課題・勉強	帰宅・夕食		趣味
22		趣味				趣味	
23	就寝準備	就寝準備	就寝準備	就寝準備	就寝準備		就寝準備
24	課題・勉強	課題・勉強	課題・勉強	課題・勉強		就寝準備	趣味
1				趣味		趣味	
2	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
3							

### 2年生 Aさん(心理学類)

授業は必修のものに加えて教職の授業を2つと他学類の授業を1つ履修しています。睡眠時間が少ないと翌日の生活に支障が出るので、睡眠時間は長くとっています。趣味の時間はゲームをしたり絵を描いたり小説を書いたりしていることが多いです。サークルやアルバイトはしていませんが、自分的にはバランスが取れたゆとりのある生活が出来ていると感じています。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠						
7	起床・朝食等	起床・朝食等	起床・朝食等	起床・朝食等	起床・朝食等	睡眠	
8	家事・登校	家事・登校	家事・登校	家事・登校	家事・登校	起床・朝食等	
9	授業	授業	授業	授業	授業	買い物	起床・朝食等
10							趣味
11	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	洗濯や掃除	昼食
12	課題	授業	授業	課題	授業	昼食	読書やTV
13						読書やTV	
14		読書・趣味	買い物・家事		読書・趣味		
15						課題	課題
16	授業	授業	課題・読書	授業	授業		
17						趣味	趣味
18							
19	夕食・入浴等	夕食・入浴等	夕食・入浴等	夕食・入浴等	夕食・入浴等	趣味	夕食・入浴等
20						夕食・入浴等	
21	課題	課題	趣味	読書やTV	課題		課題
22	趣味	趣味				趣味	翌日以降の準備
23					趣味		
24							
1	睡眠						
2							
3							

## 留学情報

## スチューデント・commons紹介

グローバル・commons機構

日本人学生と留学生とが日常的に国際交流が行える交流の場として、スチューデント・commonsがあります。国際交流に係わるイベントが多数開催され、海外留学を目指す学生のための説明会や個別面談等、日常的に各種留学サポートを行っております。

昼休みや空き時間にはコミュニティスペースとして、勉強会やミーティング、友達とおしゃべりなど自由にお使いいただけます（飲食OK）。



スチューデント・commonsの様子

### <留学相談デスク>

海外経験のある学生スタッフが本学の留学情報の提供を行います。

大学の交換留学制度、短期プログラムを活用した学生スタッフや、バックパッカーとして世界を旅してきた学生スタッフなど、さまざまな経験を持つ学生スタッフがいますので、是非カウンターに話を聞きにきてください！

■対応時間 平日 10:00-17:00 (予定)

### <ライティング・ヘルプデスク>

「留学に興味があるが考えがまとまらない」

「英文の書類をチェックしてもらいたい」

「英語のライティングスキルを高めたい」

・・・そう思ったことはありませんか？

ライティング・ヘルプデスクでは、留学経験のある大学院生アドバイザーが英文書類作成のサポートや留学情報の提供を行います。ぜひお気軽にご利用ください。（予約優先）

■対応時間 平日 14:00-17:00 (予定)

■予約方法

スチューデント・commonsのカウンターで直接申し込むか、電話・Eメールにて随時受け付けます。

※予約スケジュールや予約先についてはグローバル・commonsホームページ(スチューデント・commons)をご確認ください。

### <図書の出貸について>

TOEFL、TOEIC、ビジネス英語や専門英語などの教材を多く取り揃えており、貸出も可能です。

貸出期間は、2週間です。1度に2冊まで借りられます。

1回延長(さらに2週間)が出来ます。

### <国際交流イベント>

スチューデント・commonsでは、さまざまな国際交流イベントや留学に関する説明会やセミナーが開催されています。

国際交流イベントの一例として、下記のような留学生とのコミュニティ形成の場を提供しています。

#### ○Global Chat

- ・English (英語による交流)
- ・Multilingual (様々な言語による交流)
- ・Culture (異なる文化や社会について話し合いながら交流)

### お問い合わせ

スチューデント・commons (対応時間 10:00-17:00)

Tel: 029-853-7828

### 運営組織

グローバル・commons機構

### スチューデント・commons

<http://www.global.tsukuba.ac.jp/gc/sc?language=ja>



## 学生の父母等の皆様へ 正体を隠した悪質な宗教団体の勧誘被害を防ぐために 学生部学生生活課

毎年、入学式後のサークル勧誘時期には「学生サークル」、学生生活に慣れてくると「ゼミや勉強会」、就職活動の時期になると「就活相談」などと称して、宗教団体が正体を隠し学内において、親切・丁寧な声掛けで勧誘活動を行っています。いったん参加してしまうとマインドコントロールが進み入会(入信)に至り、自分の意志で脱会することが難しい団体が多いようです。

### 【新入生や就活生がターゲット?】

正体を隠して悪質な勧誘を行う宗教団体は、右も左も分からない新入生や就活に悩みを抱える学生をターゲットに、一見宗教団体と分からないような巧妙な手口で勧誘を行っています。「わたしはそんな変なことにだまされるはずがない」と思っている人ほど要注意です。

本学においては、授業(フレッシュマン・セミナー)や各種配布物、ポスターを通じて注意喚起するなど、その対策に取り組んでいますが、勧誘される側の学生に危機感がないことから、被害に遭う学生が後を絶たず、入会している上級生もいる状況です。

### 【本学での宗教団体の活動実態】

学生サークル等になりすまして勧誘している宗教団体は、大学周辺のアパート、マンション等の一室や一軒家を借りて活動の本拠地にしています。上級生に言葉巧みに勧誘された新入生は、徐々にマインドコントロールにかかっていきます。ようやく宗教団体であることを告げられる頃には、マインドコントロールも終わり上級生との信頼関係も構築され活動を続けてしまうようです。2年生になると、今度は自らが新入生を勧誘する側になります。

本学では、勧誘を受けた学生や途中で脱会した学生などから、多くの情報を得ておりますが、ある宗教団体では、Web上に「新入生の生活相談」等のブログを作るなど、巧妙な勧誘を続けて毎年10名以上の新入生の勧誘に成功しているようです。

### 【本学における宗教活動の制限】

一般生活上においては、思想・信条の尊重(信仰の自由)・自治的活動(結社活動や意見表明の事由)を理由なく制限することはできませんが、本学では、『国立大学法人筑波大学学生の活動に関する法人規程』において、学内における特定の政党を支持する政治活動や特定の宗教のための宗教活動を禁止しています。その大きな理由は次の3つの現実的理由からです。

①サークル活動であれ、宗教活動であれ、学生の本分である学業を圧迫するものは問題です。宗教団体は、学生に勧誘や献金のノルマを課します。授業時間以外は、朝から夕方までキャンパス内で勧誘を行い、夜はアパート等へ訪問伝道に行ったり、集会参加の旅費や献金のため膨大な時間をアルバイトに費やしたりすることにもなります。

②正体や活動目的を隠し、マインドコントロールを駆使して勧誘を行う団体は、それ自体が個人の自由な意思決定を阻害しているといえます。また、そのような勧誘行為を行う学生も、かつては十分な情報や適切な説明を受けずに入信した被害者であり、勧誘する者、される者とも早期の対応が必要となります。

③大学教育、特に1年、2年においては、学生の柔軟で自立的な思考能力を涵養することが大きな教育目標です。したがって、この時

期に特定の宗教的信条や人生観のみを教え込み、学生の視野と活動を一定の範囲に囲い込むことは教育上問題です。学生自身が自ら選択した結果だとしても、リベラルアーツの考え方や自分が自分らしく生きるといった現代的理念から考えると大いに問題があるといえます。

### 【勧誘事例】

#### 事例1

学食で福祉サークルを名乗る先輩から勧誘を受け、一度参加した際に優しく迎え入れられた。その後は、毎日電話が来るようになり、風邪をひいて休んだ時には手紙をもらい、感激した。4月後半に1泊2日の合宿に誘われて参加した時に、宗教らしい内容の講義があったため、先輩に「宗教団体ですか?」と尋ねたが、「違うよ。自分を高めるための勉強だよ。」と言われた。しかし、違和感を払拭できず、クラス担任に相談したところ、学生生活課へ相談するよう勧められ、その後、自ら辞める決意をした。

#### 事例2

学内を歩いていた時に、2年生から「人生の目的を考えるサークル」に誘われた。一度は断ったものの、自分の連絡先を教えてしまい、何度も誘われたため参加することにした。毎日、大学の外にあるマンションの1室に通い、「人生の目的」について先輩からの話を聞いた。5月には、「新勧合宿」に誘われ、「仏教に説かれている絶対の幸福」について徹底的に話し、徐々に仏教系の「宗教」であることを告げられるが、優しくしてくれた先輩方を裏切れない気持ちで、そのまま宗教団体に入ってしまった。2年生になるときには、新入生を勧誘する側となってしまった。

### 【最後に】

これまで、信仰の自由を尊重するということから、宗教等の勧誘に対し大学がきちんと対応しにくい面は確かにありました。しかし、筑波大生として受け入れた以上、学生が悪質な勧誘を行う宗教団体の被害に遭うことのないよう、大学が予防に尽力すべきだということは言うまでもありません。これらの宗教団体の活動について、予防教育や情報を提供し被害を最小限にとどめることは大学の重大な責務です。

本学では全学生向けの広報誌や新入生向けの冊子等でも悪質な勧誘を行う宗教団体についての注意を再三呼び掛けていますが、巧妙な手口により騙される学生が少なくありません。

信者になった学生は、家族、友人、先生からの忠告を一切受け入れず、宗教団体の教えの下に行動し、そして、また騙して勧誘する側になるのです。

保護者の皆様におかれましては、不審な勧誘に騙されないように帰省や電話等での連絡の際に、お子様を注意を促すとともに、このようなことで困ったときには、直ちに大学の総合相談窓口や学生部学生生活課に相談してください。

※この記事は、個人の信仰を批判するものではなく、悪質な勧誘に騙されないよう注意を促すものです。

○総合相談窓口 029-853-8430  
○学生部学生生活課 029-853-6092,2245,2246

## 就職特集 筑波大学のキャリア形成・就職支援 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)/学生部就職課

筑波大学におけるキャリア形成就職支援は、DACセンター/就職課を中心に、各教育組織に置かれる「キャリア支援担当教員」と連携し行われています。

企業への応募にあたっては、人物が重要視され、自己表現をしっかりとする必要があります。従来のような就職活動では思うような内定を得られません。DACセンター/就職課では自己理解・自己発見のために就職相談にのっています。また、学生の就職活動が円滑に行われるように、就職ガイダンスや学内企業説明会、就職サポーター制度の実施、就職先の開拓、就職情報の収集と提供、卒業生の進路先把握などに積極的に取り組んでいます。

また、学生の就職支援のためHPを開設しています。各種就職情報の提供及び進路希望等の届出は、このHP上で行われています。進路希望調査の入力は、HPの情報を最大限利用するために必要となります。このシステムは、インターネットを利用して、企業の求人情報、教員・公務員の採用試験情報、ガイダンス情報、学内企業説明会情報、就職活動に特定したOB・OG名簿、内定・試験受験レポートなどの情報を迅速に提供することにより学生の就職活動を支援するものです。

就職活動の時期については、今年は、企業等の採用選考は3月1日会社説明会解禁、6月1日採用選考解禁、10月1日以降内定とはなっているものの、外資系企業、ベンチャー企業を始め多くの企業が、独自の採用活動を行っていますので、正確な情報収集に努めることが大切です。DACセンター/就職課では、就職活動のサポートとして、就職活動の流れ・エントリーシート・面接対策等の各種講座や業界研究セミナー及び学内企業説明会を開催し、早い段階から学生が「就職」への意識向上・活動意欲を高められるよう情報提供や支援を行っています。

企業への就職については、景気の浮揚に伴い、売り手市場と



学内企業説明会



学生部就職課ホームページ  
<http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>

されています。しかし、人物本位の厳選採用を明確にし、その時々企業の戦略や、置かれた環境に応じて自らが行動できる、即戦力となる人材を採用するという方針に変わりはありません。

また、企業の人事担当者によると「コミュニケーション能力がある学生、問題解決能力のある学生、クリエイティブな発想を持った学生」を求めているということです。これからの学生生活の中で、自分のスキルを高めるだけでなく「自分は何をしてきたのか、何ができるのか、何をしたいのか、それをどう今後活かすのか」を見極める自己理解・自己発見をし、自分を表現することが必要となります。このため、DACセンター/就職課では、1、2年次生のうちから学生生活を充実させ自立的な行動が取れるよう、総合科目として「キャリアデザイン入門～世界にはばたく未来の自分～」、「キャリアデザイン-働く自分-」を開設しております。更にキャリア形成支援ツールとしてつばキャリアポートフォリオを設け、在学中のさまざまな経験や気付きなどを記録し、自身の進路選択に役立てるようになっています。

教員・公務員を目指す学生については早い時期から筆記試験突破のための準備が必要です。DACセンター/就職課では、教員・公務員試験合格のために、さまざまな各種試験対策講座を実施しています。

採用試験の面接では人物を重視する傾向が強くなっています。勉学や課外活動など学生生活の中で経験する一つ一つの積み重ねが、よい結果につながります。ぜひとも有意義な大学生活を送られることを願っています。

### 【DACセンター/就職課問合せ先】

【時間 8:30-12:15 13:15-17:15】  
029-853-8444

筑波大学紫峰会基金 後援

# 第45回やどかり祭

テーマ "祭鬼煥発"

前夜祭:5月31日(金)  
本祭:6月1日(土)

※雨天の場合、前夜祭は中止、本祭は6月2日(日)に順延  
場所 筑波大学平砂学生宿舍周辺

筑波大学宿舍祭、通称やどかり祭は毎年5月末に行われ、今年で第45回を迎える伝統あるお祭りです。やどかり祭は平砂学生宿舍周辺で開催されることから、宿舍祭という名前ですが、来場されるのは宿舎に住む学生だけではなく、筑波大学の学生や地域の方々など、毎年多くの方にご来場いただいています。

当日は、クラスやサークルで出店をする「模擬店」や自分たちが一から作り上げた御輿でパフォーマンスを行う「御輿企画」、各学類、有志の新生がチームを組みパフォーマンスを競い合う「ゆかたコンテスト」など多くの企画で大いに盛り上がります。またこれらの企画を通して、仲間との絆や多くの思い出が生まれ、今後の大学生活がより充実したものになるでしょう。

今年のテーマは「祭鬼煥発」です。我々の宿舍祭では地域のお祭りのような雰囲気を楽しめるため、四字熟語の「才氣煥発」を少し和風にアレンジし、祭の雰囲気との一貫性のあるテーマとしました。

最後になりましたが、やどかり祭にご協力いただける関係者の方々や地域の方々にご心より感謝申し上げます。当日は是非会場に足をお運び下さい。皆さまのご来場心よりお待ちしております。

○前夜祭 5月31日(金)16:30 ~ 21:30

- ・野外ライブ…ステージ上での音楽系サークルによるライブ演奏
- ・トーチトワリング…火を灯したトーチ棒を用いたパフォーマンス
- ・火文字…今年のテーマに沿った火文字が前夜祭を締めくくる



昨年度の様子 (ダンスパフォーマンス)

○本祭 6月1日(土)11:00 ~ 21:00

- ・本祭オープニング…本祭開催を宣言するオープニングセレモニー
- ・やどカラ…有志参加者によるカラオケパフォーマンス
- ・やどかりダンス…

- 筑波大学内のダンスサークルによるダンスパフォーマンス
- ・大学生クイズ…筑波大学生のクイズ王決定戦
- ・御輿…新入生自作の御輿の練り歩きとパフォーマンス
- ・ゆかたコンテスト…やどかり祭の目玉企画

この他にも前夜祭、本祭共通で模擬店やミニステージ&やどかりStreet Performance、縁日が開催されます。

また今年は昨年も好評だったお餅つきを体験できる餅つき企画もございます。

○会場アクセス

つくばセンターバスターミナルより、「筑波大学中央」行き、または筑波大学循環バス「平砂学生宿舍前」下車。当日は会場周辺で交通規制を行います。また、付近の駐車場も閉鎖致しますので、自家用車でのご来場は出来る限りお控えください。



昨年度の様子 (ゆかたコンテスト)

第1期分授業料納付期日のお知らせ

2019年度第1期分授業料の納付期日が以下の通りとなります。口座引落の方は5月24日(金)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座を開設していない方へは振り込み用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、第2期分以降は口座引落となるよう手続きをお願いいたします。

金額 267,900円 (ただし、法科大学院は402,000円)  
引落日 5月27日(月) 納付期限 5月31日(金)

■お問い合わせ 財務管理課出納担当 (収入) 029-853-2161

紫峰の風 第12号 2019年4月発行

- 発行 事業開発推進室  
編集 学生部学生生活課  
学生広報会議  
軽辺凌太・地球2年、河原井かれん・芸専2年  
栗山宏斗・心理3年、洪浩麟・芸専2年  
駿河くるみ・心理2年、瀬邊風馬・日2年  
根岸駿太郎・医学2年、松村岳・芸術3年  
広報部会  
黒川真臣・生命環境4年、山岸素子・知識3年  
稲葉彩月・教育3年

タイトルロゴデザイン 塚本真理 (芸術2016年度卒)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話: 029-853-5886

E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

筑波大学紫峰会基金WEBサイト:

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>

平成30年度 課外活動団体援助金系別配分額について

平成30年度課外活動団体援助金の総額は2,050万円で、2月20日の筑波大学紫峰会基金運営委員会にて通常活動に対する一般援助金を1,030万円、宿泊交通費に対する遠征援助金を1,020万円とし、系別配分額が承認されました(下図参照)。

系別配分額は全課外活動団体から提出された過去1年間の収支計算書を三系それぞれで査定・集計し、学生財務会議(文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会、体育会、全大会の代表者で構成)で議論・作成したものです。

その後、全ての課外活動団体に対して課外活動団体援助金を支給しました(4ページ参照)。

平成30年度 筑波大学紫峰会基金課外活動団体援助金系別配分額 (円)

		文サ連	芸サ連	体育会	合計
援助金総額	援助金総額	1,593,939	2,979,910	15,926,151	20,500,000
	総支出	42,105,321	99,710,078	441,204,738	583,020,137
一般援助金	援助金額	949,405	1,809,551	7,541,044	10,300,000
	総支出	25,838,217	69,277,670	236,985,603	332,101,490
遠征援助金	援助金額	644,534	1,170,359	8,385,107	10,200,000
	総支出	16,267,104	30,432,408	204,219,135	250,918,647

学内広報誌リンク集

紫峰の風

編集: 学生部学生生活課、学生広報会議・広報部会  
発行: 事業開発推進室  
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/backnumber/>



TSUKU COMM [ツクコム]

編集・発行: 筑波大学広報室  
<http://www.tsukuba.ac.jp/public/booklets/communications/index.html>



筑波大学新聞

編集: 筑波大学新聞編集部  
発行: 筑波大学  
<http://www.tsukuba.ac.jp/public/newspaper/shinbunindex.html>



筑波スポーツ

編集: 筑波スポーツ編集部  
発行: 筑波大学体育会  
[https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/tsukuba\\_sports](https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/tsukuba_sports)



桐の葉日記

4月もつくばはまだまだ寒い日が続きますが、日差しはやわらかで心地よく、春を感じさせてくれます。久しぶりのこの感覚は、私が大学に入学してからあっという間に1年が過ぎ去ってしまったことをひしひしと感じさせてくれます。

思えば、目の前にあること、もしくは目に入ってくる物事をとりえず精一杯やるだけの1年でした。

そんな中、学群の友人をはじめとした、それらの物事を通して出会ったたくさんの団体や組織の人々とのかわりと経験が私を大きく成長させてくれました。この「紫峰の風」の編集を通しての関わりもその1つです。

私はこのような広報誌の編集にかかわるのは初めてで戸惑うこともありましたが、広報部会の先輩などたくさんの方に教えられながら取材といった作業を進めることができました。この「紫峰の風」が、新入生や学生、保護者の方々のお役に立つことができれば幸いです。

2年次はただ目に入るものだけではなく、自分で首を動かして視界に入れた物事にも挑戦していきたいと思っています。忙しい日々になりそうですが、急いで生きるのではなく生き急ぐことができる人間になりたいものです。

今年度入学された新入生の皆さんも、暫くは慣れないことだ

らけだと思いますが、個性豊かで様々な異なる能力を持った人たちが筑波大学にはたくさん存在します。彼らの力を借りながら、皆さんにも精一杯頑張っていただけたらと思います。

最後になりましたが、今年度も「紫峰の風」をどうぞよろしくお願い致します。

(文責/体育会広報局長 河原井かれん・芸専2年)

大学の風景



文化系サークル館前の桜

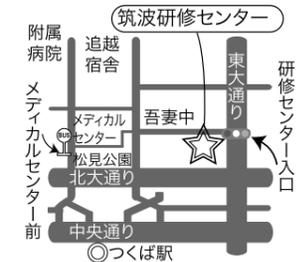
宿泊施設・館内食堂のご案内

紫峰会基金協力者と旧紫峰会会員の方は1泊200円割引します

筑波研修センター 1泊3700円より(食事別)  
・シングル145室・ツイン5室・和室5室  
筑波大学同窓会「茗溪会」の関連法人「(一財)筑波学都資金財団」が運営する宿泊施設です。電話予約は7時から24時まで受け付けています。割引対象の方は予約受付の時にお申し出下さい。

館内食堂 こうせい

・朝食500円均一  
・定食750円より  
バイキング形式、懇親会、パーティも承ります。内容、料金など気軽に相談ください。(座席80名・立食可)



〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5  
Tel 029-851-5152 Fax 029-851-8886

E-mail center@meikei.or.jp URL <http://www.meikei.or.jp/~center/>

# 一の矢 学生宿舎

大学最北端に位置する学生宿舎であり、多くの棟数と広い敷地を持つ最も大きな宿舎。共用棟に宿舎内唯一の売店が入っている。留学生用の棟も多く、よく彼らとすれ違う。くの字に大きく伸びる「兵太郎池」はスイレンが咲き乱れ蛙の鳴き声のすこい自然あふれるスポット。「森」と称されることもある。



## 学生に聞いてみた

棟全体のLINEグループが存在していて、時々シャワーの故障などの情報が流れる。掃除は充電式のスティック掃除機が使いやすい。コロコロも便利。春先も夜中はかなり冷え込むため毛布を1枚持ち込むと良い。春～夏は虫も多く、ゴキブリスプレー等の虫対策グッズを用意した(ドアの隙間から入らないようにテープングした)。宿舎から近いテクノパーク桜にあるカスミ、カワチ薬局によく行く。カスミは24時間営業で、お惣菜やパン(リトルマーメイド)がおいしい。20時を過ぎるとパンが半額になる。パン以外も夜遅くなると色々安いのでサークル活動後とかに行くのはお勤め。カスミ近くのカワチ薬局は加工食品や保存食がカスミより安い。その他にもディスカウントストアのジェイソン、ウェルシア、まるも、TSUTAYA、seriaなど色々近くにある。ファミレスチェーン店やラーメン屋、その他ご飯屋さんも沢山。松屋によく行く。共用棟に入っているヤマザキショップ(コンビニ)もよく利用する(8:00~22:00営業)。(協力/生物2年)

# 筑波大学の学生宿舎

筑波大学には一の矢、平砂、追越、春日、そしてグローバルヴィレッジという5つの学生宿舎があります。南北に伸びる広い大学の敷地にそれらの宿舎のエリアが存在し、学生が生活しているのです。1年生の中にも新たに入居し一人暮らしを始める人も多いことだろうと思います。そこで今回は学生宿舎での生活情報を、それぞれの宿舎ごとに、現在入居している学生とかつて入居していた学生にお話を聞いてみました。学生同士の交流や生活における工夫、必需品、よく利用する施設など様々な話を聞くことができました。

# グローバルヴィレッジ

グローバルヴィレッジは平成29年4月から運用されている最も新しい宿舎で、日本人学生と留学生の混合シェアハウスという大きな特徴を持っている。基本的には5人で1つのユニットに暮らす形であり、居住空間は1つの大きさの共用スペースと個別の5部屋で成っている。運用されてからまだ2年しか経っていないので、外観・内装ともに清潔感がある。



共有LDKの様子▶



## 学生に聞いてみた



グローバルヴィレッジは共用スペースの存在から、あまり狭いと感じたことはない。部屋ごとに収納もあり、衣類はそこに仕舞えるためより部屋を広く使える。また昨年10月、平砂宿舎のそばにカスミ(スーパーマーケット)がオープンしたため買い物がとても便利になった。閉店の少し前に行くとお弁当などが割引されて便利。グローバルヴィレッジは家に帰って1人ではないので寂しがりの人にはありがたい環境。ただ、掃除やリビングの使い方などのルールを決めないとトラブルの原因にもなるので、最初にしっかりと話し合った方がいいと思う。(協力/社工3年)

# 平砂 学生宿舎

最も活気があるといわれる地区で、宿舎祭(通称やどかり祭)の会場にもなっている。立地条件がよく、駅や大学へのアクセスが良いのはもちろん、コンビニや飲食店も近くに多く存在する。また、唯一共用棟に食堂と銭湯があり、平砂宿舎の入居者でない人も利用しに来ることがある。



## 学生に聞いてみた



近くの部屋の人たちとは仲良くなって、その人たちとは今でもご飯に行ったりするほどの仲だ。部屋は他の宿舎に比べても少し小さいといわれているが、備え付けの椅子に座ったまま生活行為ができるように上手く回りに物を配置して、狭さを逆に活かすようにした。最寄りのスーパーマーケットにはカスミがあるが、生鮮食品の値段はトライアルの方が安いので、自炊をするならそちらの方がおすすめ(少し遠いが)。野菜に関しては、イアスの敷地内にある野菜直売所が値段、品質ともに優れているためおすすめ。電気代が驚くほど安いので、エアコンを設置している人は冷暖房の使用を我慢しなくていいと思う。(協力/物理3年)

# 春日 学生宿舎

宿舎の地区の中で最も小規模な地区で、棟の数は3棟のみである。この地区は唯一共用棟がなく、各個室に洗面台がない。入居するのは主に春日エリアや医学エリアで授業を受ける学生である(まれに他のエリアの学生が入居する場合もあるようだ)。



## 学生に聞いてみた



同じ学類の友人や出身地が同じ人などは部屋を歩き来たり、一緒に食事を食べたりと、小規模だからこその近いつながりを築けた。つくば駅が近く、便利だと感じることも多かった。宿舎の部屋は少し狭いが、極力ものを置かなかったり、帰省するたびに使わない季節の服などを持ち帰ったりすることでカバーすることができた。また、お風呂が22時まで無料で使える上に、他の宿舎よりも綺麗に感じ、使い心地がよかった。電子レンジは便利なので絶対買うべき。(協力/看護2年)

第三エリア

第二エリア

第一エリア

体育・芸術エリア

医学エリア

春日エリア

# 追越 学生宿舎

平砂のすぐ南に位置する学生宿舎。境界線はあまりはっきりしておらず、住所は同じで立地条件もほぼ変わらない。共用棟には電気店、美容室が入っており、各棟にはシャワー室(1、2階に設置されているところが多い)ももちろん完備されている。付近には平砂同様、住み着いている猫(通称宿舎猫)たちの姿もよく見ることができる。

## 学生に聞いてみた



廊下で隣人と鉢合わせた時に挨拶するよう心がけ友達になった。いろんな学類の人たちが混在しているので、他の場所の事情を把握する手だてになることも。立方体の角材を1、2個ベッドの足の下に置いて高さを稼ぐことでベッド下収納を利用している人がほとんど。木材は様々なところから入手可能なので、隣人や先輩に聞くなどして情報収集を怠らないようにしておくことよ。宿舎付近の天久保には店が多くあり100円ローンをよく利用した。実家暮らしから初めて独り暮らしをするために宿舎に入ったが、となりの部屋に友達がいれば、自分の部屋にちょくちょく友達を呼んでいたので寂しくはなかった。それに部屋は狭いが、キッチンやトイレ、浴室などの管理をしなくてよい上、ガスなども上限を気にせず使えるので普通の独り暮らしよりも気が楽。さすがに外食ばかりだと高くついて首が回らないので、授業終わりに買い物に行って食材を調達し、自炊する機会が増えた。(協力/芸専3年)



## 文化系サークル連合会活動紹介 ～文サ連をもっと知りたい～

### 文サ連紹介

文化系サークルは華道や手話、天文研究など、文化系の枠にとらわれず日々幅広く活動しています。作品展示や発表会などで主に学内で活動している団体がある一方で、公演や演舞を学外で行っている団体、学外の施設と連携して活動している団体などもあり、団体の雰囲気や活動内容は非常に様々なものとなっています。中には昨年よりさらに活動を充実させるため、新しく企画を考案している団体や活動のクオリティを上げようと取り組んでいる団体、試合で入賞している団体もあります。これらの多種多様なサークルが所属しているのが文化系サークル連合会です。文化系サークル連合会とは、文化系サークルが日々の活動を行う上で必要となってくる施設の管理や、課外活動に関して学生の意向を反映させるためのサポートをしている組織です。主に印刷機の貸出、会議室の管理、広報誌Circle Networkの発行、会計業務の支援を行っております。文化系サークル同様、こちらの活動もまた多岐にわたっております。これらの活動を滞りなく行うため、文化系サークル連合会にはいくつかの局が設置されており、基本的にそれぞれの分野のサポートをそれぞれの局が担っております。また、皆様からの寄附金も支援金として文化系サークル連合会が適切に配分しております。我々がこのように充実した活動ができるのは皆様のご支援あってのものです。この場をお借りして感謝申し上げます。今後も筑波大学及び地域における文化の振興並びに地域との交流を深めていけるよう努力して参りますので、変わらぬご支援をいただくと幸いです。

(寄稿/文サ連運営委員長 吉田夏美・物理2年)



T.A.S.C. 活動風景



つくば鳥人間の会 活動風景



春合宿の様子

### 漫画研究会

私たち漫画研究会は普段は火曜日と木曜日にブースに集まってイベントについて話し合ったり、おしゃべりしたりしています。また、定期的にそれぞれが漫画を描いて会誌を発行しています。そして夏にはコミックマーケットという同人誌即売会で会誌を販売したり、雙峰祭で会誌やグッズを販売しています。夏休みは合宿に行きます。合宿と言っても旅行のようなもので、今年は山中湖や富士急ハイランドで遊んできました。春休みも合宿を行います。こちらは観光などはほとんどせず、宿の会議室を3泊4日貸し切って一日中漫画を描き続ける、というものです。籠って漫画をずっと描くというのは本当の漫画家になった気分です。まさに、漫画好きの漫画研究会の会員にはぴったりの行事です。

(寄稿/漫画研究会会長 石神圭祐・応理3年)



新歓大回り

### 筑波大鉄研「旅と鉄道の会」

私たちは、「旅をする」ことを会の目的とし、年に数回の旅行など様々な活動を行っています。活動の主軸である旅行は、土日もしくは大学の休業日・長期休業期間中に行っています。関東近郊の日帰り旅行が中心ですが、長期休みの際は遠方にも泊りがけで旅行します。2018年度は茨城空港・水戸など茨城県内の旅行や長野県松本・上高地など遠方への旅行、さらには東名高速・新東名のサービスエリア巡りなど様々な個性あふれる旅を実施しました。旅行などの方針決定は、毎週開催のミーティングで行っています。一方で「鉄研」の名が示す通り、つくば・関東を中心とした鉄道などの公共交通の研究・調査を行い、また研究成果をまとめた研究誌を学園祭などで販売しています。

(寄稿/旅と鉄道の会会長 伊藤俊介・比文3年)

## 芸術系サークル連合会活動紹介 ～芸サ連をもっと知りたい～

### 芸サ連紹介

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。第43期芸術系サークル連合会運営委員長の島です。「芸術系サークル連合会(以下芸サ連)」という言葉は聞いたのは初めてではないでしょうか。なぜなら「芸術系」と名のつく組織があるのは日本で筑波大学だけだからです。芸サ連とは芸術系課外活動団体から構成される組織で、筑波大学における芸術に関わる課外活動の向上、所属団体の親睦を深めること、そして筑波大学及び茨城地方における芸術の振興を図ることを目的としています。サークルを運営する上で生じる様々な問題に立ち向かう為に、当時の音楽系・芸術系サークルの代表者たちが協力して作り上げたこの組織は、創設から46年と長い歴史を持ちます。そして今もお、学生を中心として活動を続けています。現在、芸サ連には30の団体が所属しています。所属団体の活動は音楽や日本の伝統芸能、パフォーマンスなど多岐にわたっています。特に雙峰祭ではほとんどの団体が日頃の活動の成果を発表したり、お店を出したりして年に一度の学園祭を盛り上げています。また、学内のイベントだけでなく、学外においても公園や展示を多数行っています。

新入生の皆さんはそんなサークルの新歓に参加するなどして学生生活のスタートを楽しんでください! それでは1年間芸サ連をよろしくお祈いします!



(寄稿/芸サ連運営委員長 島一成・応理3年)



2018年度雙峰祭 UNITED ステージの様子

### 筑波音楽協会

筑波音楽協会—通称『筑音(ちくおん)』—は、芸術系サークル連合会に所属する筑波大学公認の軽音楽バンドサークルです。筑波大学の軽音楽サークルの中では最も歴史が長く、HR/HM・ロック・J-POP・V系・プログレ・アニソン・パンク・シューゲイザー…などなど幅広いジャンルで個性豊かなバンドが、月に1回開催されるライブを目標に音楽活動をしています! 全くの初心者から相当な実力者まで、自由にバンドを組みバンドのカラーも様々です。ライブ時にはPA係・照明係・記録装飾係・ドラム係に分かれ、協力して準備・本番・片付けを行います。自分たちでライブを作り上げていくので、サークルメンバー同士の信頼はとて厚く和気藹々とした雰囲気の中活動しています。

(寄稿/筑波音楽協会会長 甲斐聡一郎・社会3年)



お稽古の様子

### 津軽三味線倶楽部無絃塾

私たち「津軽三味線倶楽部無絃塾」は、月・水・土曜の週3回、開学記念館にて「明るく楽しく元氣よく」そして「いつも一生懸命」をモットーに約40名ほどで和気藹々と活動しています。津軽三味線、和太鼓、お箏、民謡、民舞など日本の伝統芸能を総合的に学んでおり、プロの先生からもご指導いただいています。三味線はお貸しします。その中身は、本格的な津軽三味線からポップスまで! 夏には炎の夏合宿、秋には学園祭、冬にはクリスマスコンサート、その他学外公演などイベント盛沢山! なんと部員は全員大学から三味線を始めた初心者! 一から丁寧に指導いただいています。無絃塾は、何にでも挑戦し、全力になれる場です! 皆さまこれからもよろしくお祈いします。

(寄稿/津軽三味線倶楽部無絃塾責任者 池田遥香・障害3年)



新歓イベントの一環として行なった遠足の様子

### 写真部

写真部は毎週金曜18:30から1C棟の暗室でMTを行なっています。カメラや写真が好きな部員が集まり、写真を撮り合ったり見せ合ったりしています。デジタルカメラに限らずフィルムカメラを使う部員もあり、撮る写真の世界は様々です。毎週のMTで部員の写真を他の人たちに見せ、2、3人ずつ今まで撮ってきた写真を紹介し、自分がどんな風に写真を撮っているか、どんな写真が好きなのか発表します。アドバイスや質問をするなど、互いに撮影に対してモチベーションを上げます。また、学期中に1、2回撮影の遠足へ出かけます。レンタカーで主に県外に行き部員同士撮り合ったりします。そして新歓時期や学園祭にこれまで撮ってきた写真の展示会を行います。多くの人に見てもらおう機会、皆気合いの入った写真が並びます。

(寄稿/写真部 河合英大・芸専3年)

## 全学学類・専門学群代表者会議活動紹介 ～全代会をもっと知りたい～



会議に臨む全代会構成員



副学長等との懇談会の様子

### 全代会紹介

この度筑波大学に入学された新入生の皆様、大変おめでとうございます。そしてようこそ筑波大学へ。ご家族、保護者の皆様におかれましては、この度はおめでとうございます。新入生の皆様はどのような思いで筑波を受験され、入学を迎えられましたか。理由は一人一人さまざまかと思えます。その思いを今後も忘れず心に留め、筑波大学での学生生活がより一層有意義なものとなることを一学生として祈念しております。

申し遅れましたが私は平成30年度全学学類・専門学群代表者会議(以下、全代会)議長を務めておりました。知識情報・図書館学類3年の四家武彦と申します。全代会とはいわば筑波大学の生徒会のような学生組織で学内全体の問題を扱う大学公認の学生組織です。今回は貴重な紙面をお借りして、全代会をはじめとした筑波大学の学生組織についてご紹介したいと思います。お読みいただき、皆様の記憶のどこかに留めていただければ幸いです。

筑波大学には実に多くの学生組織があります。その中でも意思決定や問題解決を主眼に置いた学生自治の仕組みとして「クラス代表者会議」と私達「全代会」があります。ご存知のように筑波大学はクラス制度をとっており、自治組織もこの形態に準拠した形で発展してきました。4月の入学直後、各クラスではいわゆる学級委員長にあたるクラス代表者の選出を行います。この代表者が学類・専門学群単位で集まった組織が「クラス代表者会議」なのです。カリキュラムから福利厚生関係まで、学生生活をより良いものにするために大学教職員と協議したり協力を得ながら活動しております。

そしてクラス代表者会議から更に選出された学生で構成されるのが「全代会」になります。前者が学類・専門学群の問題を扱うのに対し、全代会は学内全体の問題を主に扱います。全代会は全25学類・専門学群のクラス代表者会議から最低3名が選出されるため、総勢75名以上で構成されています。月2～3回程度開かれる会議や、総務・学内行事・教育環境・生活環境・調査・広報の6つの常任委員会の活動、さらには関連機関である学園祭実行委員会やスポーツ・デー学生委員会とも連携し学生生活の改善や更なる価値の創出に励んでおります。加えて全代会は、週に一度大学教員と議長団とでランチミーティングを持ったり学生部学生生活課をはじめとした機関から厚い支援をいただくなど、大学側とも建設的な関係を築き共同しております。

以上が全代会のあらましでございます。ここで新入生をはじめとした学生の皆様へお願いがございます。私共の活動はまだ道半ばです。この道で歩みを進めるのに必要不可欠な要素が学生の皆様のお力添えやご理解です。全代会は社会基盤的で表出しない活動が多く、活動意欲は構成員のやりがいに依拠しているのが現状です。少しでも応援いただき、あわよくばお力添えいただければ大変ありがたいと思います。新しい元号を迎える今、全代会も新しい風を巻き起こせるよう引き続き活動に尽力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

(寄稿/全学学類・専門学群代表者会議議長 四家武彦・知識3年)

### 総務委員会

#### <委員会の紹介>

総務委員会は、全代会の活動に関わる庶務を幅広く行っており、全代会の円滑な運営を支えることを目的として活動しています。委員はそれぞれ事務部門と情報部門に分かれています。

#### <活動紹介>

事務部門では、会議のための教室申請、物品の申請・管理、会計業務、会議の出欠確認、人事管理、名簿の作成・管理、会議資料の印刷、議事内容報告書の作成など、全代会全体に係る業務を行っています。2018年度は資料印刷の必要・不要を確認することで資料印刷の枚数を削減する、また出欠確認の方法を改善するなどして、少ないメンバーで効率よく業務を進めら

れるよう工夫を行いました。人事管理は委員長が兼任することとなりましたが、議長団などの協力もあり大きな問題もなく業務を行うことができました。

情報部門では、全代会室のネットワーク環境の整備やパソコン機器、コミュニケーションツールSlackの管理、課外活動団体が利用するSTBサーバの管理やWebページ学生委員会への委員派遣、また全代会ホームページの管理などを行っています。2018年度は2017年度から継続して行っていた全代会ホームページのリニューアルを終え、より見やすいホームページとすることが出来ました。

(寄稿/全代会総務委員会委員長 猪瀬百合子・生物3年)

## 平成30年度 課外活動団体援助金額ランキング

筑波大学紫峰会基金では、毎年三系の加盟団体に対して課外活動団体援助金を支給しています。この援助金は団体が過去1年間に活動した実績に対するもので、学生が中心となって配分額を作成しています。

課外活動団体援助金支給までの流れ

- ①各団体の会計がその団体の1年分(10月～9月)の収支計算書と領収証等を三系の財務局に提出
- ②筑波大学紫峰会基金運営委員会で課外活動団体援助金の予算額を決定
- ③各系の会計局を中心に提出された収支計算書と領収証等を査定し、折衝用の基礎資料を作成
- ④三系代表学生の自主的な折衝(学生財務会議)を経て系別配分額案を作成
- ⑤筑波大学紫峰会基金運営委員会で系別配分額案を承認
- ⑥系毎に加盟団体別の援助金額を決定
- ⑦課外活動団体援助金を全団体に支給

なお、各団体の援助金入金確認と利用状況については、毎年全課外活動団体に対して実施している会計面接の中で確認しています。今回は3月末に援助対象の135団体へ支給しました平成30年度課外活動団体援助金(総額2,050万円)の中で、援助金額の多い上位10団体を紹介します。

平成30年度 課外活動団体援助金額 TOP10 (円)

順位	文化系サークル連合会	芸術系サークル連合会	体育会	体育会医学部会
1	海洋研究会 205,558	管弦楽団 826,094	硬式野球部 2,149,467	医学アイスホッケー部 496,114
2	歌留多部 183,581	吹奏楽団 450,474	蹴球部 1,112,404	医学バドミントン部 457,131
3	TOJO K-ON 147,125	津軽三味線倶楽部無絃塾 338,019	ラグビー部 903,483	医学水泳部 423,139
4	つくば鳥人間の会 111,395	混声合唱団 253,856	陸上競技部 613,727	医学硬式庭球部 420,184
5	現代視覚文化研究会 83,313	応援部WINS 142,389	バドミントン同好会 491,457	医学ゴルフ部 323,610
6	天文研究会 72,550	筑波音楽協会 119,687	男子バスケットボール部 412,456	医学スキー部 251,086
7	野外活動クラブ 66,856	舞踏研究会 101,679	男子ラクロス部 333,118	医学準硬式野球部 235,878
8	斬桐舞 64,526	つくばフォーク村 97,217	女子バスケットボール部 320,176	医学ヨット部 233,489
9	筑波大鉄研「旅と鉄道の会」 62,531	アカペラサークルDoo-Wop 82,545	アメリカンフットボール部 313,761	医学弓道部 230,904
10	歴史探訪会 56,963	JAZZ愛好会 68,697	馬術部 310,642	医学サッカー部 230,038
	<b>全35団体合計 1,593,939</b>	<b>全29団体合計 2,979,910</b>	<b>全53団体合計 11,717,898</b>	<b>全18団体合計 4,208,253</b>

## 学生相談室から

受付窓口 029-853-2415  
電話相談 029-853-2406

### 「気持ちも「春」になっていますか」

保健管理センター学生相談室 岩藤 裕美

新たに大学生生活を迎えている新入生のみならず、また進級して新年度を迎えているみなさん、いかがお過ごしですか。これから何をしようかと期待に胸を膨らませたり、今年度の計画に向かって身を引き締めている頃ではないでしょうか。けれども、春はそんな新しいスタートのイメージとは裏腹に、気持ちが減りたり、元気が出なかったりしてしまいやすい季節でもあります。

新しい環境や人との関係になかなか馴染めない、思い描いていた生活とは違った、ということもあるでしょう。またしなくてはならない事が目白押しで、そのスピードについていくことができず、心が渋滞を起こしてしまうこともあるかもしれません。よく五月病といいますが、うららかな春の日の中で、心の停滞や鬱積した思いが募ることがあります。そんな時はどうしたらよいでしょうか。

一つの方法として考えられるのは気分転換です。思い切って休養をとりましょう。やらなければならないと思いつつ何もできないまま時間がすぎる、そんな状況は心の負担をさらに大きくさせてしまいます。思い切って時間をつくり、ハイキングや運動など身体をうごかしてみるのもよいですし、好きな音楽を聴いたりリラックスして

ることをお勧めします。また、嫌なことがあったときや悩んでいることがある時は、自分の中に溜めこんだりせずに誰かに相談してみましょう。対人関係での些細ないらいや傷つきも、それが重なると大きくなってしまいます。誰かに話すことで自分の気持ちに気付いたり、問題への対処を客観的に考えられるようになり、気持ちが少し楽になったりします。

新年度を迎え、みなさんの心の健康をサポートする大学内の機関を紹介します。

まず総合相談窓口は校内2か所にあり、スチューデントプラザ3階と春日エリアに設置されています。臨床心理士が常駐し、学生生活を送る上での様々な悩みやご相談にお答えします。苦しんでいることやわからないことがあったら、お気軽にお尋ねください。じっくりと考えたい、相談したいという場合には、学生相談室もあります。

筑波大学では、みなさんの学生生活をサポートする、様々な応援体制を整えています。保護者の方々も、お困りのことがあればどうぞお気軽にご利用ください。

# 体育会活動紹介 ～体育会をもっと知りたい～

## 体育会執行委員会紹介

皆様、こんにちは。体育会執行委員会第43代委員長を務めさせていただきます。長谷勇希と申します。今回は自分から、体育会執行委員会について述べさせていただきます。

筑波大学体育会執行委員会について、自分は「筑波大学体育会の、他にはない価値を守る学生組織」だと考えております。ではその価値とは一体、何なのでしょう。他の多くの大学にも、体育会と呼ばれる体育系課外活動団体により構成される組織はあります。しかしそれらの大半と筑波大学体育会の大きな違いは、学生の任意の課外活動でありながら、各団体の存続には大学の認可を必要としているという点です。加えて大学の認可を得なければ活動できないという反面、体育会の総意として述べる意見は、大学に対して相当の影響を持ちます。その認可が得られるように各団体の公正な運営の維持をサポートし、さらに全団体の意見を吸い上げて体育会全体の総意として大学に意見するのが執行委員会なのです。

公正な運営の維持という点に関しては、体育会所属団体としての果たすべき義務の達成具合を点数化して評価する認定推薦という仕組みがあります。その採点対象書類の一つに、月次で会計状況を事細かに報告させる「収支計算書」という書類がありますが、これは各団体の運営の透明性を裏付ける一番の根拠だと言っても過言ではないでしょう。収支計算書には各月の部費などの収入と、試合参加費や物品購入のために使われた支出が領収書の添付とともに記され、それらは執行委員会の査定を経て大学へ提出されます。また年に1回は大学職員と共に全団体に面接を行い、書類上だけでなく多角的に運営状況をチェックする体制も整えられています。

その上で、無事認定推薦をクリアした団体は、執行委員会委員

長が議長を務め各団体の代表者が集う「代表者会議」で意見を述べる権利を獲得します。この会議では様々な議事が提出され、議論を通じて体育会全体としての意見をまとめます。その上でそれらは大学と学生が意見を擦り合わせる連絡会に持ち込まれ、執行委員会から大学に対して意見されます。

このように執行委員会は筑波大学体育会の価値維持に努め、より強固な組織にしようと日々活動しています。大学スポーツのあり方が問われる昨今、我々はさらに気を引き締めて業務に当たらなければなりません。

(寄稿/体育会執行委員会第43代委員長 長谷勇希・体専4年)



第43代発足時の様子



左から2018年体育会納会にて/認定された団体の証、議決権カード

## 医学部会執行委員会の活動内容紹介

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ここでは医学部会執行委員会を紹介いたします。

医学部会執行委員会は体育会執行委員会の下に設置され、医学部会に必要な業務を行っております。委員長、副委員長、広報部長、総務局長、会計局長、財務局長、書記局長の計7人で構成されております。医学部会に所属している課外活動団体の運営がスムーズに行われ、大会でよい成績を残せるようにサポートするのが医学部会執行委員会の最大の役割です。

医学部会は東日本医科学生総合体育大会(通称:東医体)、及びそれに準ずる大会(関東医歯薬獣医リーグなど)に出場することを目的とした課外活動団体で構成されております。医学部会には計18団体が所属しており、体育会本部とは別に一定の範囲で自治を行っております。東医体とは年に1度東日本の医学系部活が一堂に会し、各競技における東日本の頂点を争う大会です。1週間ほどにわたって行われる大きな大会で、各選手並々ならぬ思いで臨んでおります。2018年に行われた第61回東医体では、夏季競技終了時点で総合成績が1位と、多くの部活が優秀な成績を残しました。例えば、医学バレーボール部と



医学ゴルフ部は1位、医学準硬式野球部は3位の栄光に輝きました。医学生と聞くと勉強しかしていないのではという印象を受ける方もいるでしょう。確かに医学の勉強や実習は大変ですが、忙しい中でも時間を見つけ部活動に全力で取り組んでおります。努力の結果が東日本1位という素晴らしい成績にあらわれたことをうれしく思います。医学生以外にはあまり知られていない大会ですが、筑波大学の代表として躍動する彼らを応援して下さると嬉しいです。

今年は医学執行委員会の運営に大きな動きがあります。これまで医学執行委員会室は本部とは独立して医学エリアに設置されておりましたが、この度本部の執行委員会室と統合することが決まりました。それに伴って業務内容が刷新され、これまで以上に円滑な業務を遂行できるようになりました。課外活動団体の運営により深くかわり、良質なサポートを提供してゆけるよう頑張っていこうと思います。

医学部会執行委員会は発足してまだ5年目というかなり新しい組織ではありますが、体育会本部と密な連携を取りながらしっかりと役割を果たせるよう全力で活動してまいります。新しい組織ゆえ、至らない点も多いかと思いますが今後ともよろしくお願いたします。

(寄稿/体育会医学局長 宮本温・医学2年)



練習風景

## 少林寺拳法部

私たちは少林寺拳法部です。少林寺拳法は護身術の一つで、突き、蹴り、投げ、固め等の技からなる武道です。人体の急所をうまく利用することによって力の弱い人や女性でも相手を倒すことができる技術です。少林寺拳法は、健康増進、生涯体育としても非常に有効であり、日頃の練習を通じて精神面と肉体面を同時に鍛えることができます。

我が部は他の体育会の団体と比べて少人数ではありますが、その分部員同士の仲がよく、学年や段位の差に関係なく意見を言い合える関係にあります。そのような関係は、部員にとって部活動を居心地の良い場所にするためにとても大切なことです。4月からは新歓が始まり、新たな仲間も増えると思います。新入生に少林寺拳法の楽しさを知ってもらえるように、部全体で意見を出し合ってよりよい部活にしていけるよう努めています。

(寄稿/少林寺拳法部主将 木澤沙羅・芸専3年)



2018年リーグ戦

## 女子ラクロス部

今年創部15年目になる女子ラクロス部は、現在関東学生ラクロスリーグ戦において三部に所属しており、『二部昇格』を果たすべく、日々活動しています。今シーズンのスローガンは『覚悟』です。部員数が少ないため、全員が即戦力であり、一人一人が、自分がチームを勝たせる『覚悟』を持つという意味が込められています。また、指導者がおらず、学生主体でチーム運営を行っており、プレーのみでなく、組織としても一人一人がチームに貢献しています。チームにおける最終目標としては日本一であり、その目標を果たすため、三部校を圧倒しての二部昇格を掲げています。創部以来まだ見たことのない二部の舞台を目指して駆け抜けていきますので、ご声援よろしくお願い致します。

(寄稿/女子ラクロス部主務 岸裕希奈・社工4年)



スマッシュを決める

## 医学バドミントン部

私たち医学バドミントン部は月、水、木、土曜日と毎週4日間練習を行っています。医学の部活ということで、部員の多くは大学からバドミントンを始めていて、バドミントンの基礎の練習から始め、だんだんと上達していきます。もちろん中学や高校からの経験者もいて、バドミントンのレベルが多様な部員達みんな同じ練習をするので、メニューを組むのにも一苦労します。総部員数は100人を超え、医学、看護、医療科学類以外にも社会学類や心理学類、芸専など様々な学類の学生が所属しています。6月に関東医学バドミントン大会、夏には東日本医科学生総合体育大会、秋には関東コメディカルリーグといった大会に出場するので、それを目標にしてそれぞれの部員は、日々の練習に励んでいます。医学バドミントン部をよろしくお願いたします。

(寄稿/医学バドミントン部主将 前田颯生・医学4年)



練習風景

## 医学スキー部

私たち医学スキー部は、年2回行われる大会に向けて日々トレーニングに励んでおります。夏場は体幹、筋力トレーニングなど、基礎体力の向上を目的としたトレーニングに加え、雪上での動きを意識したランニングなどを練習に取り入れております。また、夏合宿では、タイヤのついた板を用いて、実際のスキーに近い動きの中でより実践的なトレーニングを行っております。そして冬場は、全体合宿や有志による合宿などでフリスキー、またポールを立てた練習など大会を視野に入れて練習を行います。部員同士仲がよく、合宿の期間が長いこともありアットホームな雰囲気です。教えてくださるコーチの方もとても丁寧で優しい方ですので、楽しみながら練習に取り組んでおります。

(寄稿/医学スキー部主将 福地晴彦・医学4年)